

「総理」

「YKK 秘録」のレビューに、「『総理』を続けて読んだら面白かった」というのがあったので読んでみた。

確かに面白かった。特に、第二次安部政権発足の裏のやりとりには、ひきこまれてしまった。個人の日記ベース、というのと、ジャーナリストによる観察ベース、というのはさっぴいても、政治、あるいは、政治家に求められているものが変わったんだな、というのが、よくわかる。ニュースなどをみていて感じたこととも符号するなあ、と。

もう2、3年した頃に、ここ数年のあれこれを読ませてくれる本がでないかな。

逆に、岸信介前後あたりについても、読んでみたいな、と。何がいいかな。